



鹿児島市議会議員
たてやま清隆
総務環境委員会
都市整備対策特別委員会(委員長)



鹿児島市議会議員
園山えり
産業観光企業委員会/議会運営委員会
桜島爆発対策特別委員会

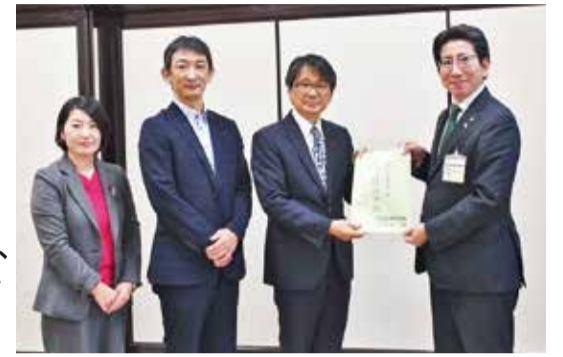


鹿児島市議会議員
大園たつや
市民文教委員会/鹿児島港本港区の
まちづくりに関する調査特別委員会

第4回定例会市議会は、令和5年12月5日～22日の会期で開催され、下鶴市長から、住民税非課税世帯に対する1世帯7万円の支援給付金支給事業と11の物価高騰対策事業を含む**92億8065万2千円**の補正予算など28議案が提出されました。12月5日の本会議では、令和4年度決算関連の15議案について採決が行われ、**市長や議員等の特別職の期末手当の引上げが含まれる一般会計決算など**、10議案について反対討論を行いました。

党市議団は、それぞれ個人質疑に立ち、市長や当局の見解を質すとともに、12月22日の最終本会議では、市長や議員等の特別職の期末手当の引上げ議案を含む6つの議案に対する反対討論と駐車場使用料の引上げ中止を求める御所下住宅自動車管理組合の陳情に対する賛成討論を行いました。

本会議終了後の26日には、下鶴市長に「**2024年度鹿児島市予算編成にむけた要望書(112項目)**」を提出し、党市議団が取組んだ**市民アンケート結果**(裏面参照)を示しながら、要望項目が来年度予算に反映されるように要請しました。(要望書は、党市議団ホームページで発表しています)



オスプレイはじめ危険な米軍機の本市上空の飛行は止めるべき

令和5年11月29日、屋久島沖で米空軍 CV22 オスプレイが墜落事故をおこしました。

これまで党市議は、本市上空の飛行が常態化している米軍機やオスプレイの実態を示し、飛行自体が大変危険であると指摘してきました。今回の墜落事故も10分早ければ本市ははじめ陸地に墜落し大惨事が起きた可能性も考えられます。危険な米軍機は本市上空を含む陸上を飛ばないように求めるべきです。

- 党市議** 当日の飛行ルートや事故原因、本市に連絡はあったものか。
- 市当局** 事故原因や飛行ルートについては公表されていない。国から本市への連絡はなかった。
- 党市議** 市長は原因究明が明らかになるまでは、飛行停止とオスプレイの全面的な撤去を求めるべき
- 下鶴市長** 安全の確保は最優先であり市民の不安が払拭されるよう国に責任をもって対応して頂きたいと考えている。

学校給食を無償に!

物価高騰対策で学校給食費が9月から11月まで無償となりました。党市議団は財源を活用して、可能な限り無償を継続すべきと求めていましたが、学校によっては令和6年1月まで一部補助をすることができ、子育て世帯の負担軽減が図られました。

このようなことから、学校給食費無償化を実現する立場から質疑を行いました。教育長は「現時点では考えていない」としながらも国が学校給食費無償化のための調査を行っていることや財政的な課題解決のために、県に対して「学校給食費無償化への支援」を要望したと答弁しました。

	R5・12月分 一部補助	R5・12月分 全部補助	R6・1月 一部補助
小学校(78校)	34校	7校	37校
中学校(39校)	34校	2校	2校

学校に通えない子どもたちの居場所づくりの充実を!

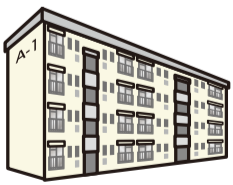

全国で学校に通えない子どもたちが増えており、昨年は小中学生で29万人と過去最多となっています。本市でも昨年の不登校児童生徒数は、児童520人、生徒1,051人で前年度より1.5倍となっています。

このような中、フリースクールと連携して出席扱いとする取り組みが広がっており、党市議団としてもフレンドシップ制度の拡充とともにフリースクールへの財政的支援を求め、居場所づくりの充実を求めました。

市議会最終本会議では、「**不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書**」が全会一致で採択されました。

		R2年度	R3年度	R4年度
フリースクール 利用人数	小学生	17	36	56
	中学生	36	26	52
出席扱いした 人数	小学生	3	2	23
	中学生	6	22	22
フリースクールの 在籍校数	小学校	2	9	29
	中学校	12	17	21
出席扱いした 学校数	小学校	2	1	15
	中学校	5	10	14

表1: 令和5年第4回定例会議案&陳情に対する表決態度

議案名	主な反対理由	会派の表決態度
第76号議案 「特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件」及び 第78号議案 (一般会計)、 第80号議案 (市交通事業)、 第81号議案 (水道事業)、 第83号議案 (船舶事業)の特別会計補正予算	●第76号議案は、市長や議員等の特別職の期末手当を引き上げるための条例改正議案であるが、期末手当の引上げの是非について、客観的な妥当性を判断するために、鹿児島市報酬等審議会にて審査し、市民への説明責任を果たしていないことは問題であり、その増額の影響が含まれている補正予算に反対しました。	<反対> 日本共産党 にじとみどり <賛成> 自民党 社民立憲 公明党 市民連合
第74号議案 公の施設の指定管理者の指定に関する件 	●市営住宅の指定管理業務に「共同施設」として駐車場の管理を追加することを含む議案となっているが、 第一 に、自治による管理ができなくなり柔軟な対応ができなくなる。 第二 に、指定管理者が、日常点検業務等を管理組合に再委託する料金が議決時点で決まっていなかったことは問題。 第三 に、指定管理者が管理することで委託料が増えることは問題。 第四 に、1億5千万円の駐車場使用料は一般会計に入り、その用途が不明となることは問題など 4つの理由 を示して反対を表明しました。	<反対> 日本共産党 にじとみどり <賛成> 自民党 社民立憲 公明党 市民連合 にじとみどり
陳情名	賛成理由	会派の表決態度
陳情第33号 鹿児島市市営住宅条例一部改正による駐車場管理料金設定について 	●御所下市営住宅の自動車管理組合(120世帯)から駐車場使用料の「金額設定や管理内容の再考」を求める陳情であり、 第一 に、物価高騰の下で市民生活が最も厳しい時に2.4倍もの負担増は問題。 第二 に、市から具体的な駐車場整備の方針が示されていないことは問題。 第三 に、日常点検業務等を管理組合に再委託することは、指定管理者制度の根本が問われる問題。 第四 に、市当局による機械的・画一的な管理によって様々な問題が各市営住宅で発生する懸念がある等、 4つの理由 を示して、同陳情への賛成を表明しました。	<賛成> 日本共産党 にじとみどり <反対> 自民党 社民立憲 公明党 市民連合

市民アンケートへの ご協力ありがとうございました。

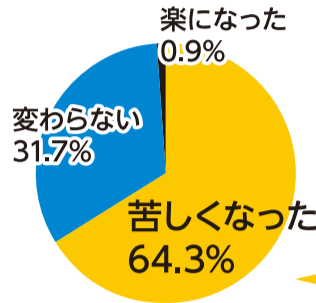
党市議団は、昨年11月から、地域に返信用封筒を添付した「市民アンケート」を配布し、12月25日までに集約した470人分のアンケート結果を報告します。アンケート結果を、今後の議会活動に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



(元旦 照国神社前で)

Q1. 今の暮らし向きは

苦しくなった	64.3%
変わらない	31.7%
楽になった	0.9%



<「苦しくなった」理由>

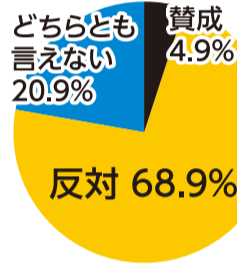
第1位 物価があがった	85.1%
第2位 消費税の負担増	37.1%
第3位 公共料金があがった	35.1%
第4位 年金がへった	28.5%
第5位 収入がへった	26.8%

- * 一生懸命働いても税金でほとんど取られてしまう(20代)
- * 物価があがり朝食をめくようになった。節約に心がけている(40代)
- * 共働きで毎日必死にやりくりして生活しています(40代)
- * これ以上負担が増えると確実に生活が苦しくなる(40代)
- * 消費税で儲けている大企業のために消費税を減税できない政治に嫌気がさします(50代)
- * 物価高なのに年金が年々減られる事には大いに納得できません(80代)



Q2. 「大軍拡・大増税」の国政について

賛成	4.9%
反対	68.9%
どちらとも言えない	20.9%



- * 鹿児島が戦争に巻き込まれる可能性が高い(70代)
- * 私たちは戦争の準備をするために税金を納めているのではない(20代)
- * 自分の子どもが自衛隊に行っています。外国に行かせないでください。毎日が不安でなりません(80代)



Q3. 今後、鹿児島市に力を入れてほしいことは？(上位10位)

第1位 高齢者福祉	36.6%
第2位 子育て支援	34.3%
第3位 介護	29.4%
第4位 公共交通	28.9%
第5位 医療	27.9%
第6位 教育	23.8%
第7位 若者支援	15.7%
第8位 中小企業支援	14.7%
第9位 環境問題	13.8%
第10位 観光・町の賑わい	12.8%

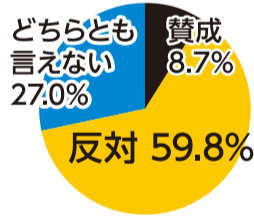
- * 介護職員の賃金・手当をあげてほしい(40代)
- * こども医療費を高校卒業まで無料をぜひ実現してほしい。
- * 子育てしやすい町に。もっとこどもを遊ばせてママの交流ができる場所を増やしてほしい(30代)
- * 中小企業や自営業への支援を充実してほしい(70代)
- * 市営バスの撤退により交通便がかなり減りました。高齢者が増えていく中で公共交通の改善が必要(60代)



Q4. 下鶴市長の市政運営に対する評価を問う!

①北ふ頭のサッカースタジアム構想について

賛成	8.7%
反対	59.8%
どちらとも言えない	27.0%

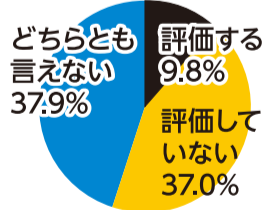


- * サッカースタジアムが本当に必要か、市民に聞いてもらいたい(60代)
- * 白波スタジアムが存在するのに、新たにスタジアムを作るのはもったいない(40代)
- * サッカースタジアムは、海の近くで津波被害を考えているのか不安(70代)



②待機児童等の子育て支援施策について

評価する	9.8%
評価していない	37.0%
どちらとも言えない	37.9%

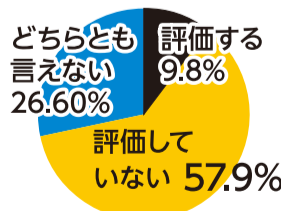


- * 未だに待機児童対策が遅れており、市長は公約を守ってほしい(80代)



③公共交通の削減や利用者の負担増について

評価する	9.8%
評価していない	57.9%
どちらとも言えない	26.60%

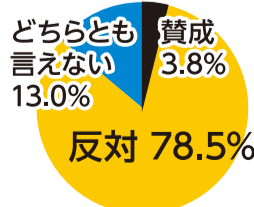


- * バスの減便、スクールバスの廃止などで子どもに負担がかかっている(40代)
- * バスの削減で、とても困っている(40代)



④自衛隊への、本人の同意のない18歳の若者の名簿提供について

賛成	3.8%
反対	78.5%
どちらとも言えない	13.0%



- * 自衛隊への名簿提出には本人の同意が必要と思う(80代)

